

「明治の女子力」イベントレポート

日時：2017年11月23日（祝） 16：40-18：10

会場：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン Room B

近年「明治大学が元気だ」という評判をよく耳にします¹。またこのような評判を裏付けるような明治大学を題材とした書籍等も複数発行されています²が、それらで共通に指摘される成功要因をして「女子学生の増加」が挙げられます。統計的には、明治大学の女子学生比率は34.8%を占め（2017年5月1日現在）、過去30年で約3倍になりました。学内での女性の存在感は量的にも質的にもますます大きくなっています。

そこで、女性（特に女子学生）の増加と活躍が「明治の女子力」であり、今後明治大学がさらに発展していくために欠かせない要素と捉え、その源泉について、「明治の女子」が自ら考えてみることにしました。

明治大学には1929年の明治大学専門部女子部から始まる男女共同参画に歩みがあり、またすでに社会で活躍する多くのOGが存在します。しかし、さらに深く最近の変化について考えるために、当日は社会で活躍する（あるいはこれから活躍する）明治大学の社会科学系学部の卒業生（及び院生・学部生）4名にお集まりいただき、「明治の女子力」の源泉を探るため、以下の3テーマをたてて座談会を行いました。

【ラウンド1】自己紹介（これまでのキャリア、今後の展望など）

【ラウンド2】明治の女子力とは（明治大学、明大女子の良いところ）

【ラウンド3】AI時代の社会科学系女子のキャリアプラン

アカデミックフェス全体の最後の時間帯での開催でしたが、登壇者はもちろん、フロア一からも多くのコメントが寄せられ、会場が一体となった熱い議論が交わされました。「明治大学の女子学生は圧倒的多数の男性の中での少数者であったものの、男子学生とともに歩んでいこうという意識を持っているからこそ強みを発揮してきたのではないか。」「これは明治の女子力というより、人間力そのものではないか」と議論は尽きませんでした。



¹ 「高校生が志願したい大学、7年連続1位（リクルート進学総研の「進学ブランド力調査」より）、「10年連続受験者数10万人超」。

² 上阪徹『あの明治大学が、なぜ女子高生が選ぶNo.1大学になったのか？ 奇跡を起こすブランドポジションの作り方』東洋経済新報社、2017年11月。中村三郎『明治大学という「武器」を持って～いま、なぜ受験生と企業に人気なのか～』経済界新書、2012年。造事務所『OB・現役学生知っておきたい大学の真実 明治大学の「今」を読む』、じっぴコンパクト新書、2015年。小林哲夫『早慶MARCH 大学ブランド大激変』、朝日新書、2016年、など。

【登壇者紹介】



水戸部 由枝 明治大学政治経済学部准教授（政治経済学部出身）

2006年 明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了（政治学博士）。2009年明治大学政治経済学部専任講師、2014年より現職。担当科目は西洋政治史、専門はドイツ近現代史（セクシュアリティと政治の関係性）。最近の著書・論文・訳書：『歴史のなかの社会国家』（共著・山川出版社・2016年）／『教養のドイツ現代史』（共著・ミネルヴァ書房・2016年）／『ドイツ文化史入門』（共著・昭和堂・2011年）／『戦場の性』（共訳・岩波書店・2015年）



小澤 朋代 パペルック(株)取締役（法学部出身）

金融機関にて住宅ローン等を担当。2013年パペルック(株)に参画後、写真アプリ「papelook」のコンテンツ制作やサービス改善を担当し全世界2000万ダウンロードを達成。その後新規事業をいくつか立ち上げる。海外のYou Tubeやブログを長年見ていたのをキッカケに、日本でも質の高いコンテンツを作りたいと思い2015年3月に美容メディア FAVOR を立ち上げる。現在は月間100万人が利用するまでに成長し、外資系から日本の大手化粧品ブランドまでクライアントの担当している。



野地 もも 明治大学大学院商学研究科博士後期課程（商学部出身）

日本企業の経営者報酬問題を研究テーマとする。大学院に通う傍ら、米国系報酬コンサルティング企業と契約し分析を担当。実社会の変化を踏まえ学術研究を進めるよう心掛けている。昨年設立した明治大学株価指数研究所にて戦前の株式市場についての研究も行う。商学部在籍時には翻訳文学や日本の近現代文学に耽溺し、書籍を求め神田古本屋街を彷徨う。明治大学出身の小説家である倉橋由美子を偏愛。現在、商学部助手、他大学非常勤講師。



畠山しおん 明治大学商学部4年

ゼミナールでは、新興アジア諸国の経済発展と開発援助に関する経済史研究を行う。体育会アメリカンフットボール部マネージャー。進路はホテル業界に就職予定。「明治大学の良さの一つに学生数の多さがあると思います。様々な学生がいる中で大学生活を過ごし、自分の視野・価値観が広がりました。このフォーラムを通して、明治大学で学ぶ良さや、就職活動についてなど、沢山のことを皆様にお伝えできればと思っています。」



・司会：中林真理子 明治大学商学部教授 学長室専門員（商学部出身）

明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了（博士（商学））。商学部入学以来、学部生として、大学院生として、教員そして研究者として明治大学で過ごす。専門は保険学、リスクマネジメント。企業のリスクとしての倫理的課題を研究。学長室専門員として、明治大学とラテンアメリカ地域の海外協定校との交流に尽力している。